



家業の「コルク」を今後も継承

内山工業株式会社

明治 31 年にコルク栓の製造を開始したのが当社の創業です。その後、数々のコルク製品を開発し、コルク業界ではトップメーカーとなりました。



【コルク床材】

コルクはポルトガルやスペインなど地中海沿岸の、限られた場所でしか育たないコルク樅の樹皮です。樹木を伐採することなく、樹皮を約 9 年毎に再生を繰り返しながら剥ぎ取るので、天然のエコ素材として知られています。そのコルクを薄くスライスして裏地を貼った厚み 0.3 ミリほどのコルクレザーがポルトガルで製造されており、当社はコルクの良さをもっと広く知っていただきたいという思いから、このコルクレザーを加工して、世代を問わずコルクに興味を持っていただけるような商品の企画販売をしています。

消費者の皆様には、コルク栓やコルクボード以外にもコルクを使った商品があるということを知っていただき、そして、コルクの温かさに多くの方々に触れていただくために、コルクの積み木や、幼稚園や介護施設の床材にも幅広く展開をしています。



【次世代育成支援イベント『おぎゃっと 21』に出展】

当社では合成ゴム部門、合成樹脂部門を加え、今では自動車をはじめ産業機械等に用いられるガスケットシール材が主力となっていますが、これからも家業であるコルクは、時代を超えて継承してまいります。



【コルクレザー使用商品】